

第1・2学年 国語科学習指導案

日 時	平成30年11月16日(金)5校時
学校名	稚内市立声問小学校
児 童	1年2名 2年1名
授業者	〇〇 〇〇

1. 単元名

1年「うみへの ながい たび」

読む: 白くまの様子を考えながら声に出して読み、「音読発表会」をする。

2年「生きもののことをせつめいしよう」

書く: カードを用いて自分の伝えたいことを明確にしなが、説明的な文章を書く。

2. 単元について

1年生「うみへの ながい たび」 読む

教材文の「うみへの ながい たび」は、白くまの親子が海まで長い旅をする過程を描いた文章で、白くまの兄弟の成長と、それを見守る母ぐまの様子がわかりやすく書かれている。本単元は、写真と文章とを手がかりに、登場人物である白くまに同化して、それぞれが想像を広げ、それを発表し合うという言語活動を連続させた内容である。

全てにおいて入門期だった1学期は、「読む」ことに関して、その内容よりも、正しくはっきり発音することや、友達と声をそろえたり順番に声を出したりして、楽しく読むことを重視し、取り組んできた。特に、「がぎぐげごのうた」や「おおきなかぶ」では、たくさん音読練習を重ね、自信をもって発表することができた。本単元では、写真や文章から、登場人物の白くまの様子を思い浮かべて理解を深め、音読に生かすことを狙っていきいたい。その後、「りすの わすれもの」や「お手がみ」などで、より登場人物のしたことや様子を思いうかべて読む活動につなげられるようにしたい。

2年生「生きもののことをせつめいしよう」 書く

本単元では、身近な生き物のことについて、順序を意識して説明文を書く学習を行う。教材文のこいけさんの文章は、実際に観察したこと、本などで調べたことが順序よくかかれている。また、えさを食べなかったときに、本で調べて実験している様子も書かれている。

1学期は、「たんけんした ことを つたえよう」の学習で、図書館見学を題材にして報告文を書いた。見聞したことをメモにし、取捨選択したり配列を考えたりして、三段構成のまとまりをつくり、意欲的に発表活動をおこなった。特に、内容を伝えるときに、意識して「はじめに」「つぎに」「さいごに」と順序立てて伝えることができた。そこで、既習事項をもとに、児童の興味のある生き物について自分で調べ、必要な事柄を集め、事柄の順序にそって内容のまとまりがわかるような説明文づくりをめざしたい。その後、3学期の指導内容「一年間のできごとをふりかえって」や、3年「生き物のとくちょうをくらべて書こう」の学習につなげていきたい。

3. 児童の実態(国語科を中心に)・・・省略

4. 研究主題との関連

研究主題 互いに学び合い共にたくましく伸びる子どもの育成
～国語の授業づくりを通して～

【仮説】つけたい力を明確にし、子どもが自分の考えを持ち、表現するための支援を適切に行うことで、内容の理解が深まり、自分の考えや思いを豊かに表現することができるだろう。

研究の視点と内容	
① 授業改善の視点	② 学びを支える基盤づくり
○単元構成の工夫 つけたい力の明確化 1年 □白くまになったつもりで考えて、様子がわかるように音読をする力。 ・「 」()はだれが言って(思っ)いて、どのように読めばより様子が伝わるかを、写真や文章をもとに、ていねいに読み取り、読み方を考える。その根拠も考える。音読に生かす。 2年: □順序よく、わかりやすい文章を書く力。 ・説明文の例文を真似て、「キリギリス」を題材に試行的に書く。その後、取材→構成→叙述を経て、本時の「ハムスター」の説明文の作成につなげる。 ・三段構成(はじめ、中、おわり)の理解と利用。 ・つなぎことば(接続語)の適切な利用。 ○読みとる力を鍛える支援 1年: □単元に入る前の週から、音読を家庭学習で課題としていく。 ○思考を支える支援 1・2年とも: □学習の流れを表示。(ゴールをはっきりさせた授業づくり) □既習事項の振り返りの活用。 1年～うみへのながい旅図 2年～「キリギリス」の試行説明文など。 2年: □体験したことをもとに書く。 □調べたことを引用し、そこから考えたことを書く。	○言語環境の整備 【読書の取り組み】 ・読書の推奨(市立図書館・ぶつくくん・ぶつくバック・学校図書館など)より。 ・昼「きずなタイム」での読み聞かせ。 ・読書貯金の取り組み～2学期より。 →本に親しみ、本に出会い、本の楽しさや新たな発見を体感させていくことをねらい、語彙の取得とともに、本単元でも追求していく。 ○言葉の力を育てる 【音読の取り組み】 ・教科書「物語」「説明文」などの教材文や報告文の繰り返し音読。家庭学習での反復練習。 ・音読発表会の実施。練習、進行、実践、振り返り。 →自分でしっかり声を出すこと、話す声の大きさや速さ、相手意識を意識しながら、などその状況に合わせて、めあてをもち、音読を繰り返していくことで、自信や自己肯定感を持たせていく。 【発表場面の保障】 ・参観日、公開授業、他学年への発表機会 →「できること」「わかること」が増える楽しさ、表現することで得られる自信を積み上げて、本単元でも生かしていきたい。 【日常的に】 ・「週末日記」の課題 ・行事後の絵日記 ・朝の会の休みの日スピーチ、おはなしボックス。

5. 単元の目標・評価規準

1年生 読む: 白くまの様子を考えながら声に出して読み、「音読発表会」をする。

2年生 書く: カードを用いて自分の伝えたいことを明確にしなが、説明的な文章を書く。

関心意欲態度	◎読む能力	言語についての知識・理解・技能
写真と文章を結びつけて読もうとしている。	写真と文章をもとに、白くまの親子の様子を想像しながら読んでいる。 C (1) エ	() 「 」が、誰の気持ちや会話を表しているか理解している。 (1) イ (ウ)

関心意欲態度	◎書く能力	言語についての知識・理解・技能
興味をもった生きもののことを説明する文章を書こうとしている。	自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って書いている。 B (1) イ	言葉には、事物の内容を表すはたらきがあることに気づいている。 (1) イ (ア)

大めあて 1年: 白くまになったつもりで「音読発表会」をしよう。 2年: 生き物のことを説明しよう。

1 年			2 年		
小単元名	ねらい・学習内容	主な評価規準	小単元名	ねらい・学習内容	主な評価規準
第一次	①「うみへの ながい たび」を読み、単元の終わりには、『音読発表会で発表しよう』という目的を持つ。 ・7つの場面分け。 ・登場人物、中心人物。 ②③「うみへの ながい たび」を声に出して読む。(全文通読) 物語の全体像をとらえる。(1～3の場面、4～7の場面の区別) そのために必要なことを確かめる。 ・おおまかなあらすじをとらえる。 ・季節 ・時間の流れ(100日…) ・場所 ・にょい ・題名 etc ☆「うみへの ながい 旅図」の作成、掲示。 ☆だれの()の思い、「 」のセリフなのか。シール付け。	(関)興味を持って作品を読み、学習の見通しを持っている。 (読)物語の全体像を捉えることができる。	第一次	①「学習のすすめ方」を読んで、学習全体の目標を理解し、詳しく知りたい生き物を決め、学習の見通しをもつ。 →本人事前調査の結果… ハムスター>ギリギリス>カブトムシ ②③教科書 48・49 ページこいけさんの例文をもとにして、「ギリギリスのかい方」の説明文に換えて、書いていく。 【留意点】 □三段構成 はじめ、中、おわり □接続語(つなぎことば) そこで、はじめに、つぎに、さいごに、でも、だから ・文末表現 ～です。～ます。～ました。～でした。～思いました。 ☆第二次に入る前に、「ハムスター」の何について書きたいか？を焦点化し、題名を決める。	(関)興味をもった生きもののことを書くとしている。 (書)例文をもとにして事柄の順序に沿って書いている。
3 時間			3 時間		
第二次	④⑤1～3の場面の読み取り。 ・1～3の写真3枚を手がかりに、白くまの兄弟や、かあさんぐまの思いを考える。 ・2つの母ぐまの()は、どう読むか？を考える。その理由も。 ・強く(大きく)読む。 ・優しく読む。 ⑥⑦⑧ 4～7の場面の読み取り。 ・4～7の写真を手がかりに、かあさんぐまや白くまの兄弟、おすぐまの気持ちを考える。 ・「 」は、どう読めばよいか？を考える。その理由も。 ・強く(大きく)読む。 ・優しく、小さく、ゆっくり、読む。	(読)白くまの兄弟や母ぐまの思いを想像することができる。 (読)写真と文章から、どんなふうに()を読めばいいか、根拠をもとに考えることができる。 (読)写真と文章から、どんなふうに「 」を読めばいいか、根拠をもとに考えることができる。	第二次	④ 児童がくわしく説明したい生き物の「ハムスターの○○」について、どんなことを調べたいかを考える。 ・しらべるきっかけ ・かい方 ・えさ ・気をつけること etc ⑤⑥知りたいことについて、調べたことや観察したいことをカードに書く。 ・知っている知識や体験したことを書く。 ・調べたこと(本やインターネットで)を書く。 ⑦⑧⑨カードを使って書く順序を考えて決めて、書いていく。 □三段構成 □接続語 こいけさんの説明文や、第一次で書いた「ギリギリスのかい方」を参考に、カードをもとにして、説明文を書く。	(書)カードの項目ごとに必要な内容を書くことができる。 (書)体験・見聞したことや自分で調べたことをカードに書ける。 (書)事柄の順序に気をつけながら、書く順序を考えてまとめることができる。
5 時間			5 時間		
第三次	⑨音読発表会のリハーサルをする。 ・2年生からのアドバイス ・自分たちのふりかえり ⑩「音読発表会」で発表する。 ・保護者や先生方へ発表する。 ・アドバイス、ふりかえり。	(読)学んだことをもとに、白くまの様子を感じながら音読している。	第三次	⑨書いた説明文を見直す。 ・発表のリハーサル、ふりかえり。 ・改善点、アドバイスを求める。 ⑩説明文を発表する。 ・保護者や先生方へ発表する。 ・稚校他校の2年生との交流。 ・アドバイス、ふりかえり。	(書)順序立てた構成の説明文を書けている。
2 時間			2 時間		

7. 本時案

本時の目標

1年生 : 白くまのようすがわかるように、音読のしかたを考える。

2年生 : 並べたカードをもとに、順序を考える。

本時の展開

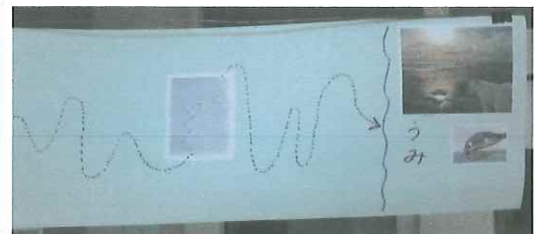
1年生			2年生			
評価規準 (方法)	◎教師の関わり (発問・指示・動き)	学習内容	段階	学習内容	◎教師の関わり (発問・指示・動き)	評価規準 (方法)
	◎1～3でわかったことは？◎4,5はどんな場面かな？～旅に出る、歩く、おすぐまにあらう。	(前時までの想起) ・1～3場面のふりかえり「うみへの　ながい　たびず」 ・4,5の場面を音読する。 →交代で○読み、1回。	と ら え る	・新出漢字の習熟　or ・説明文メモカードの整理		
めあて　「　　　」のよみかたを、かんがえよう。						
	◎4つの「　　　」をどんなふうにも読めばいいかを、考えよう。	・4,5の場面の、かあさんぐまとおすぐまのセリフを、どんなふうにも音読したらいいかを、考える。その理由も。ふきだしカード用意。				
	◎4,5の「　　　」はどんなふうにも読んだらいいだろう。 ・ふき出しカード記入。 ↓ ・黒板にはる ・友だちと「こんなふうにかいたよ」と交流し合う。	・写真や文章を手がかりに、ふきだしカードに書く。どんなふうにも音読するか、その理由も含めて、4,5の場面の4つの「　　　」、それぞれに書く。 ↓ ・張り出して掲示。 ↓ ・お互いに書いたことを交流する。 ↓ 4の「　　　」や、5の「　　　」はどんなふうにも読めばいいか相談する。読んでみる。	考 え る ・ ひ ろ げ る	(前時までの想起) ・「ハムスターの○○」について何まいかのカードに書いたものを並べる。 めあて　文のじゅんじょを考えよう。 ・カードをどんな順番にすれば、相手にわかりやすい説明文になるかを考えて、整理する。	◎前の時間に、ハムスターについてどんなカードを書いたかな？	
◎ (読) 写真と文章から、どんなふうにも「　　　」を読めばいいか、根拠をもとに考えている。(ふきだしカード)	◎どんなふうにも「　　　」を読んだらいいか書けたかな？ ◎実際に、そう書いたように読んでごらん。	・4「おくれちゃ　だめ。…」は、しっかり、大きく、読む。 母ぐまの強さ、愛情。 ・5「なんか　ようかい、え？」 大きい、こわい感じ、おどかさ。 敵にやられてたまるか！ 「うんにゃ。ううふ…」 弱気、ビビッてしまう、たじたじ。 やばいな…。 「なら、さっさとおゆきよ。」 とつととあつちへ行け！	ま と め る	・第一次で学習した「ギリギリのかい方」でのポイントをおさえる。 【書くポイント】 □三段構成(はじめ・中・おわり) □接続語(つなぎことば) そこで、はじめに、つぎに、さいごに、でも、また、だから、 □似た内容のカードは近くに。 ・カードを黒板に、貼っていく。接続語とともに。 ・実際に音読してみる。	◎文章を順序立てて書くときに、大切にすることは？ ○「中」はくわしい説明になるので、長くなってよい。 接続語を効果的に使って、並べよう。 ◎声に出して、読んでみよう。	◎ (書) 事柄の順序に気をつけながら、書く順序を考えてまとめることができる。(黒板の掲示物)
まとめ　ようすやきもちを、かんがえながらよむとよい。						
	◎では、4,5の場面を通して、音読してみよう。	・音読練習　2～3回 →交代で○読み。	ま と め る	・三段構成になっているか？ はじめ、中、おわりの区別の根拠 ・事柄の順序に気をつけながら、まとめられたかどうか？ その根拠も説明。 まとめ　【はじめ・中・おわり】に気をつけてならべると、わかりやすい。	◎ (推敲) 並べてみたね。どうして、この並び方に、なったのかな？	(書) なぜ、この順序にしたかの根拠を伝えられる。(発言)
(読)「　　　」をどう読んだらいいか、読みとったことを生かして読んでいく。(音読の様子)	◎今日勉強したことを意識して練習しましょう。	・4,5の場面の音読。		・原稿用紙に書く際の注意点。 三段は段を下げて区別。カードの内容が変わる「中」の部分も一段下げて区別する。(接続語から) (・1年生の音読、聞いてもらい助言？)	◎では、実際に本文を書いているこう。 原稿用紙に書くときには…。	

8. 板書計画

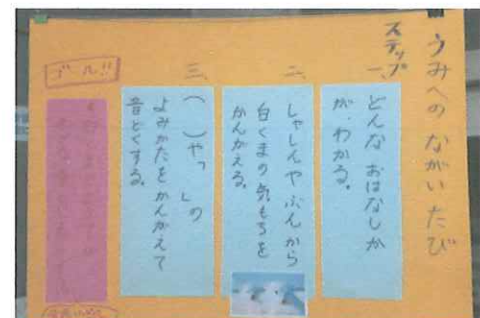
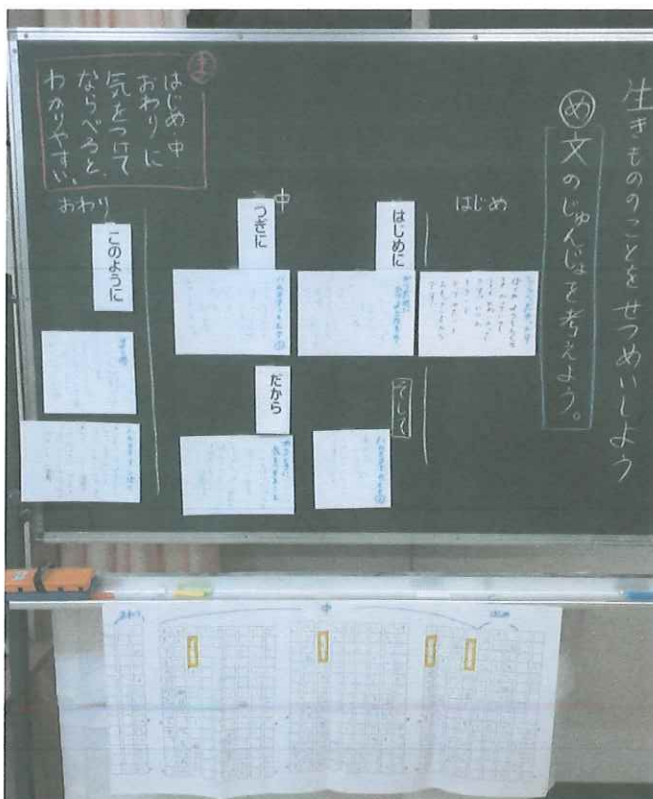
1年 前面黑板



1年側面掲示



2年 前面掲示



2年側面表示

